

# 万騎が原小学校建替え工事に伴う設計業務委託

本設計業務委託にあたって、公募型簡易プロポーザルを実施し、設計者選定を行いました。

## ● 委託業務の概要

### 1 目的

万騎が原小学校の既存校舎は、昭和 39 年から増築・改修を重ね、建設後 50 年以上が経過し、経年劣化による老朽化などの課題があります。このため、子どもたちが楽しく快適に学べる、機能的な学校づくりを目的とし、同校の敷地において建替えを行います。

### 2 一連の業務委託契約（予定）

(1) 基本計画	契約締結日	から	令和 3 年 3 月 31 日まで（今回）
(2) 基本設計	令和 3 年 4 月頃	から	令和 3 年 8 月頃まで（予定）
(3) 実施設計（解体設計含む）	令和 3 年 9 月頃	から	令和 4 年 8 月頃まで（予定）
(4) 工事監理	令和 5 年 10 月頃	から	令和 10 年 3 月頃まで（予定）

## ● 実施の経緯

令和 2 年 4 月 30 日（木）…第一入札参加資格審査・指名業者選定委員会（実施方法等の選定）

令和 2 年 5 月 8 日（金）…実施の公表

令和 2 年 5 月 26 日（火）…参加意向申出書の提出期限（8 者より申出）

令和 2 年 5 月 29 日（金）

…提案資格確認結果通知書・プロポーザル関係書類提出要請書の交付（全者へ交付）

令和 2 年 6 月 5 日（金）…質問書の提出期限（6 者より提出）

令和 2 年 6 月 12 日（金）…回答書の送付

令和 2 年 6 月 26 日（金）…提案書の提出期限（8 者より提出）

- ・株式会社現代計画研究所
- ・東畑・アカイワ設計共同体
- ・梓・金子設計共同企業体
- ・株式会社みかんぐみ
- ・株式会社ダン総合設計
- ・野沢建築工房・小泉アトリエ設計共同体
- ・あい・田辺設計共同体
- ・松田平田設計・白川設計設計共同企業体

令和 2 年 7 月 28 日（火）…一次評価検討会

令和 2 年 8 月 3 日（月）…第一入札参加資格審査・指名業者選定委員会（二次評価対象者の選定）

- ・梓・金子設計共同企業体
- ・株式会社現代計画研究所
- ・東畑・アカイワ設計共同体
- ・あい・田辺設計共同体
- ・松田平田設計・白川設計設計共同企業体

令和 2 年 9 月 3 日（木）…二次評価検討会

令和 2 年 9 月 16 日（水）…第一入札参加資格審査・指名業者選定委員会（受託候補者等の特定）

## ● 評価検討会委員

東洋大学 名誉教授 長澤 悟 先生

建築局 公共建築部長

建築局 建築指導部 建築指導課長

教育委員会事務局 施設部 教育施設課担当課長

教育委員会事務局 施設部 教育施設課担当課長

## ● 提案書の内容

### 1 提案項目

「2 提案書作成上の計画条件」を前提とし、「教育環境の向上」、「環境への配慮」、「施設の長寿命化」に配慮しつつ、コスト削減の視点を念頭に校舎棟を木造と想定した上で、下記の項目について提案してください。

#### (1) 施設計画及びコスト削減の考え方についての提案

- ア 近隣環境と学校全体の運営等に配慮した良好な学習環境を実現するための施設計画
- イ 概算工事費に対するコスト削減に向けた具体的方策
- ウ 防耐火計画および建築手法についての考え方
- エ 建築意匠と調和した設備計画の考え方（維持管理も含む）

#### (2) 木の特性に配慮した学校整備の考え方についての提案

- ア 木の魅力を活かした建築および具体的な建築工法について
- イ 長寿命化、維持保全計画に関する考え方

#### (3) 工事中の安全・学校運営への配慮についての提案

- ア 工事中の児童の安全配慮
- イ 運動スペースや給食室の継続利用など、学校運営への配慮

#### (4) 確実な木材の調達にかかる業務の進め方についての提案

- ア 想定される木材の樹種及び推定使用量の考え方
- イ 木材調達のための協力体制等、業務の進め方に対する提案

#### (5) 業務の成果物等の品質確保、業務の進め方と取組体制についての提案

- ア 成果物等（報告書及び図面、積算関係書類等）の品質向上を図るための方法
- イ スケジュールの組立て方や管理方法、工事監理体制などの業務の進め方
- ウ 関係者間の連携等をどう行うかなどの取組体制

### 2 提案書作成上の計画条件

提案書を作成するにあたり、次のとおり計画条件を設定します。

なお、計画条件は、契約後の委託業務の与条件とは異なる場合があります、委託業務は、提案書の内容にかかわらず、契約後に提示する与条件に基づき行います。

#### (1) 計画概要

「横浜市教育ビジョン2030」（平成30年2月策定）では、横浜の教育は「自ら学び 社会とつながり 共に未来を創る人」を目指して、多様な価値観や個性を尊重し、子どもや学校を取り巻く、様々な「ひと、もの、こと」のつながりを大切に、その実現のために、四つの方向性に沿って施策や取り組みを進めることとしています。詳細については、ホームページをご確認ください。

(<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/plankoho/plan/vision/vision.html>)

施設整備にあたっては、特に下記の項目に取り組んでいきます。

<方向性> 豊かな教育環境を整えます

<取り組み> 学校施設の計画的な建て替えや保全等を進め、子どもの安全・安心を確保します。  
地域とともに子どもをよりよく育む教育環境を整えます。

また、校舎棟及び体育館・給食室棟を新築し、表1「整備概要」のとおり再整備します。

- ア 児童及び教職員が安全安心を実感でき、利用しやすい小学校
- ・効率的で明確な動線とし、バリアフリー化を含め、児童が安全に移動できる計画とします。特に、集会開催時や災害発生時等に、児童が一斉に移動する際、事故や混乱がないよう配慮します。
  - ・校内への不審者進入防止や児童の安全確保の観点から、教職員が児童に目が届きやすくするため、建物内や敷地内で死角を作らないよう配慮します。
  - ・働きやすい環境として、教職員同士がコミュニケーションを取りやすく、また、効率的な学校運営がしやすいよう配慮します。
  - ・グラウンドの面積を可能な限り確保します。
  - ・緑化面積は敷地面積の20%以上必要です。イニシャルコスト・維持管理コストの低減を考慮し、地上での緑化を優先します。

- イ 自然エネルギーなど環境等に配慮した小学校
- ・通風、採光を確保し、自然エネルギーの利用や、環境への負荷低減を図ります。
  - ・「横浜市の公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」に基づき、イニシャルコスト・維持管理コストに配慮したうえで、木造・木質化を図ります。

- ウ コスト縮減、施設の長寿命化に配慮した小学校
- ・教育活動に必要な機能を確保しつつ、イニシャルコスト・維持管理コストの縮減を図ります。

- エ 工事中の安全・学校運営への配慮
- ・工事中は同一敷地内で学校運営を行うため、児童及び教職員の安全性に十分配慮した、工程計画及び仮設計画とします。
  - ・体育館、プール、給食室、グラウンド等について休止期間を短期間とするなど、工事中の学校運営にできるだけ支障がでないような工程計画及び仮設計画とします。

表1 「整備概要」

棟名	校舎棟	体育館・給食室棟
延べ面積	約 6,800 m <sup>2</sup>	
構造	木造（予定）	鉄筋コンクリート造（予定）
階数	地上3階（予定）	地上2階（予定）
所要室	「表2 所要室一覧」参照	
備考	放課後キッズクラブを整備します。	

(2) 敷地概要

- ア 所在地 旭区大池町 66 番地
- イ 敷地面積 約 12,561 m<sup>2</sup>
- ウ 用途地域等 市街化調整区域（建蔽率 50%、容積率 80%）、  
宅地造成工事規制区域  
都市計画公園（こども自然公園）
- エ その他 防災関連情報等は横浜市行政地図情報提供システムを参照してください。

(3) 既存棟概要

名称		構造	階数	延べ面積 約(m <sup>2</sup> )	建築年
校舎棟	校舎棟	鉄筋コンクリート造	地上2～4階	4,029	昭和39年
	給食室	鉄筋コンクリート造	地上2階		昭和53年
プレハブ校舎		鉄骨造	地上2階	581	昭和48年
体育館棟		鉄筋コンクリート造	地上3階	611	昭和44年

(4) 概算工事費

約33億円

※既存校舎解体費、新築工事費及び外構の整備にかかる工事費を含みます。

※概算工事費は、基本構想資料を参考としたものであり、確定した金額ではなくさらなるコスト削減を目指しています。

表2 所要室一覧

種別	室名		整備後	
			CR <sup>※1</sup> 数	面積 (約㎡)
教室	1	普通教室 <sup>※2</sup>	14.0	896.0
	2	個別支援教室 <sup>※3</sup>	2.0	128.0
	3	特別支援教室 <sup>※4</sup>	1.0	64.0
特別教室	4	理科教室・準備室	2.0	128.0
	5	音楽教室・準備室	2.0	128.0
	6	家庭科教室	2.0	128.0
	7	図画工作教室・準備室	2.0	128.0
	8	図書室	2.0	128.0
	9	コンピューター教室	1.0	64.0
	10	教育相談室・耐火書庫	0.5	32.0
	多目的室	11	多目的室(水廻り学習等)	0.0
12		多目的室(集会・発表等) <sup>※5</sup>	2.0	128.0
13		多目的室(少人数指導) <sup>※6</sup>	2.0	128.0
14		多目的室(学校指定) <sup>※7</sup>	2.0	128.0
管理諸室 <sup>※11・12</sup>	15	校長室	0.5	32.0
	16	職員室	2.0	128.0
	17	事務室	0.5	32.0
	18	保健室	1.0	64.0
	19	保健相談室・教材教具室①	0.5	32.0
	20	放送・スタジオ室	0.5	32.0
	21	会議室	1.0	64.0
	22	印刷室	0.5	32.0
	23	職員更衣室	0.5	32.0
	24	技術員室・湯沸室	0.5	32.0
	25	休養室 <sup>※8</sup>	0.5	32.0
	26	職員・来校者用玄関	0.5	32.0
	27	教材教具室②	1.5	96.0
	28	変電室	1.0	64.0
	29	倉庫	0.5	32.0
30	PTA 会議室	0.5	32.0	
31	地域交流室 <sup>※13</sup>	0.5	32.0	
その他	32	児童更衣室	1.0	64.0
	33	昇降口	1.5	96.0
	34	放課後キッズクラブ <sup>※13</sup>	2.0	128.0
	35	給食室		354.0
	36	エレベーター <sup>※9</sup>		1基
	37	体育館(アリーナ面積) <sup>※10・13</sup>		560.0
	38	共用部(トイレ・廊下・階段等)		適宜
	39	プール		適宜

- ※1 1 CR=8 m×8 m=64m<sup>2</sup>
- ※2 普通教室と廊下の仕切りは、授業中に児童が集中できるように音・視線に配慮するとともに、更衣時の教室外からの視線に配慮します。また、児童の作品等の掲示が可能な仕様とします。
- ※3 軽度な知的障害や自閉症・情緒障害の児童が日常的に使用する教室。
- ※4 日常的には普通学級に在籍している児童が、一斉授業では集中できない等様々な理由で個別授業を行うための教室。
- ※5 音楽科、社会科、総合的な学習等で、学年、縦割り等でのグループ学習や一斉学習等多様な学習を行うための室。
- ※6 教科の理解度によりクラスを2～3グループに分けて少人数できめ細かい授業を行うための室。
- ※7 普通教室と近接し、多目的に活用できる配置計画とします。
- ※8 体調不良の教職員等の休息や会議に利用される室。
- ※9 エレベーターは、11人乗りとし、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び「横浜市福祉のまちづくり条例」に遵守します。なお、各階を結ぶスロープは設置しません。
- ※10 体育館には、コントロール室、更衣室等附帯施設（面積適宜）を配置します。
- ※11 職員室と校長室は隣接させ、児童の安全確保のために、学校の中心部でグラウンドを見渡せる1階に原則として配置します。また、その他の管理諸室との連携及び個人情報管理に配慮した計画とします。
- ※12 保健室、保健相談室、事務室、技術員室などは管理諸室と連携しやすい配置とします。
- ※13 放課後キッズクラブ（2CR 想定）、地域交流室、体育館、防災備蓄庫などは、放課後、休日の利用を考慮し、管理しやすい配置、計画とします。

## ● 結果

受託候補者：梓・金子設計共同企業体

（「株式会社 梓設計 横浜支社」、「株式会社 金子設計」による設計共同企業体）

（評価の理由）

空間的に特徴のある「コモレビコモンズ」を学校の中心として、学年のまとまりを確保し、図書館・特別教室への動線が明快な教室配置、北側校舎を2階建てで抑え、近隣や校庭に配慮するなど、積極的な提案がなされ、木材の活用についても調達・設計・細部の納まりまで課題がよく捉えられています。

アリーナ上のプール配置や2基のエレベーターなど、検討が必要と感じられる部分もありますが、コストやメンテナンスを含めた検討により、提案を実現する設計の工夫が重ねられることを期待します。

次点者：株式会社 現代計画研究所